

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 7/6 第12号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

第2回トークイン双ヶ丘

7月4日（木）に第2回「トークイン双ヶ丘」を実施しました。今回のテーマは、1年生と2年生は「校外学習を終えて」、3年生は「修学旅行を終えて」でした。今回も発表する生徒、聴く生徒、共に真剣な表情が印象的で、好感がもてました。代表生徒の発表の一部を紹介します。

1年男子

「…友だちと木材を2本使って木材を横に真っ二つに割っていました。…他の班や他のクラスの人の木材を割りました。一人では割れなかったけれど複数人ですると割れました。この経験から仲間がとても大切だということが分かりました。」

※仲間の大切さを感じてくれました。周りの人も自分も大切にしてください。

1年女子

「新しい友だちもできた。ふつうにうれしかった。帰る前、少しだけ時間があつたからレクをした。レクは、あと少しのところで負けてしまった。少しのくやしさと楽しく過ごせたうれしい気持ちを私は、家に持ちかえる。」

※毎日、少しの時間でもいいのでうれしく感じる事ができれば素敵ですね。

2年男子

「…笑顔で話しかけるとうれしいし言葉が通じなくても笑顔さえあれば相手と心が通じると感じました。…校外学習のようにしゃべったことのない人とコミュニケーションを取り、相手のよいところを見つけたいと思います。」

※相手のよさを見つけるのと同じく自分のよさも見つけてください。

2年女子

「写真を撮りおわるとゆっくりな日本語で「ありがとうございます」と言ってくれました。……私は、このフィールドワークをして日本人と外国人は通じ合えるんだなと思いました。だからしゃべる機会があるならしゃべりたいし、困っていたら助けてあげたいなと思いました。」

※外国人と通じ合える、この感覚を大切にしてください。

3年女子

「民泊の方との時間は、宝物として心に残された。このように人との出会いは自分にとっての宝物を残してもらえると私は思った。これから、たくさんの人と出会うと思う。その人たちとの出会いを大切にしていきたい。」

※困ったときやつらく感じるときに伊江島の方々との出会いを思い出してください。

3年男子

「これより先は、もう伊江島ではなく、アメリカ合衆国だ。」修学旅行の二日目、民泊の方と伊江島唯一もアメリカ軍基地「伊江島補助飛行場」の入口まで行った時の民泊の方の第一声でした。…フェンスの向こうは同じ伊江島の植物、土壌であるのに同じ伊江島ではない。」

※沖縄の現実について考えることを続けてください。

3年男子

「修学旅行を終えて、いくつもの初めての経験をし、沖縄について深く知り、共感しながら学ぶことができた。今回の修学旅行で、一歩成長できたのでこの学びをこれからの生活に活かしていきたい。」

※学校行事を通じて成長を実感することは、素晴らしいことです。

3年男子

「平和への思いです。1日目は、京都の塔へ行き、とても見晴らしがよく景色がきれいでした。でも、それ以上にそこから見えるアメリカの基地が気になりました。…毎日のようにヘリコプターの音が聞こえてくことを考えると、とてもつらいと思いました。」

※視野を広くして、平和への思いを巡らせてください。